

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年6月19日）

1 主な報告等

(1) 被害者支援の取組について

委員から、警察や弁護士等裁判手続が終わった後も、長きに渡って被害者を支えていくには、行政による支援が必要だと思う。市町村は、被害者にとって最も身近な行政機関だ。地域住民の代表である警察署協議会で市町村条例について協議し、意見要望を各自治体に届けるなど、署協議会の活用も検討してほしい。また、被害者も加害者も出さない街づくりに、引き続き尽力してもらいたい旨の発言があった。

(2) 特殊詐欺被害防止に向けた集中広報の実施について～国際電話の利用停止等の促進

委員から、詐欺の犯人はあらゆる手段を用いて人をだますので、様々な対策を講じることが必要だと感じた。県警が独自で注意を喚起する着信音を作成し、ホームページからダウンロードできるようにしたことは良いアイデアだ。ただし、それだけで終わることなく、例えば高齢者向けの防犯講話を開催して、その場で携帯電話を借りて着信音を設定するなど、普及活動にも取り組んでほしい。先日、普段から気をつけている人にも県外の警察官を語る電話がかかってきて、気が動転して思わず信じてしまうところだったという話を聞いた。特殊詐欺の手口は巧妙なので、注意するだけでは対抗できないと思う。犯人と電話をしない、犯人から電話がかかってこないようにするなど、県民と犯人を遮断することが重要であり、広報活動により一層取り組んでもらいたい旨の発言があった。

(3) 沖縄市知花の路上において発生した殺人事件について

委員から、関係課が連携してそれぞれの強みを生かして早期解決したことは非常に素晴らしい。一昔前なら迷宮入りしていた事案だと思う。警察の捜査技術が相当高まったと感じた。引き続き、重要犯罪が発生した場合は早期解決を図ってほしい旨の発言があった。

(4) 宮古島警察署管内における道路交通法違反等被疑者の検挙について

委員から、あたり運転の被疑者を検挙して広報したことは、地域住民の安心感につながったと思う。また、防犯カメラやドライブレコーダーを駆使して捜査をした努力も素晴らしい。今後とも、交通事故の抑止や県民が安心して運転できるよう、厳正な交通指導取締りをしてほしい旨の発言があった。

(5) その他

警察本部から、6月23日の戦後80年沖縄全戦没者追悼式に伴う警護警備には、多くの他県警の警察官の協力も得て、全力を挙げて取り組む所存である。また、先日、県議会も開会したところ、質問にしっかりと向き合い、丁寧な回答を心がけて県民の不安払拭に努めてまいりたい旨発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会関係報告
- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について
- ・ 裁決書の裁決について（2件）

(2) 刑事部

- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について

(3) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 弁明書と証拠書類等の作成・提出について
- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について
- ・ 沖縄県道路交通法施行細則の一部改正について

(4) 警備部

- ・ 警察職員の援助要求について（回答）